

アルネに「自然のふしぎ館」を誘致

新世紀の会 小栗 興治



質問→つやま自然のふしぎ館「津山科学教育博物館」をアルネの三・四階に誘

致すれば、子どもたちの学習の場にもなり、県外観光客の誘致にも繋がり、図書館・音楽ホール・カルチャークラス・文化展示ホールなどもマッチする。また、博物館は展示スペースの問題や空調などの関係もあって、その魅力を十分に活かすきれてないとお聞きする。森本記念財団さんと話し合ってみるお気持ちはないか。

答弁→自然のふしぎ館は津山の宝であり、私も貴重な財産としていろいろな場面で自慢してきた。ただ、いくら立派なものであっても個人のもので相手がおられる。お話を申し上げる機会を得たとは思っている。

限界集落は一集落

新風会 倉持 照憲



質問→森林セラピー・森林教育などのフィールドとしての「市民の森」構想は、

森林教育充実のためにも森林インストラクターの養成と確保、活用を。六十五歳以上の高齢者が五十%を超える「限界集落」とそれに近づきつつある集落数は。そうした地域への支援は、

答弁→癒し機能など森林の持つ特有効果を活用する発想は非常にいいこと。ありがたい提案である。スペシャリストである森林インストラクターには大変興味を持っている。限界集落は一集落、高齢者率四十%以上が三集落。今後は、新しい自治組織づくりなど、集落機能を維持するために、集落活動を行う団体の再編成も必要と考えている。

津山駅周辺整備について

津山新星会議 近藤吉一郎



質問→津山駅周辺のまちづくりの方針を今後どのように行うのか。

答弁→県北の拠点である津山市にふさわしい整備が必要であり地元の方々

ちづくりの熱意を根底において努力してまいりたい。

質問→総合的なまちづくりの観点から津山駅周辺の位置付けはどうか。

答弁→津山駅周辺地区においてもコンパクトシティの考え方を基本に置き、駅周辺地区の利便性を高め、人が集い人が住む町並みとすることが重要。

質問→津山駅周辺の公共下水道、国道五十三号線等の公共施設を先行して整備すべきでは。

答弁→今年度は汚水幹線の実施設設計を行った。今後は調整を図り事業着手してまいりたい。国道五十三号線は一体的な整備を図る必要がある。

市役所入口の改善を

みどりの会 川崎 修



質問→大多数が駐車場の関係で、東の出入り口を利用している。改善計画は、

答弁→正面玄関等へはスロープ等を設置した。改善は庁舎の構造上難問である

が専門家、市政アドバイザー等と相談し、最善を尽くしたい。

質問→来年度から始まる「担い手農地集積高度化促進事業」への取り組みは。

答弁→米政策改革を支える事業であり、認定農業者や集落営農組織育成のため前向きに取り組む。農業委員会での審議も検討を加えていきたい。

質問→環境保全型農業の推進は中山間事業取り組み地区も適用すべきである。

答弁→国、県が追加的措置を講じるのであれば、中山間の先進的地域へも広げたい。事業実施の中で、市として独自の必要性が生じれば新たな制度の研究も行う。